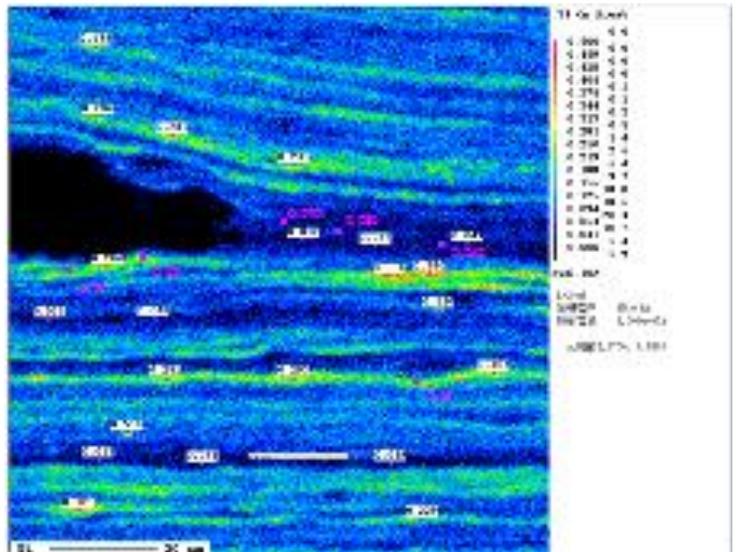


材料の表面改質と表面・界面性質の評価の研究

表面改質とはバルクの性質を生かしながら、表面に新たな性質を付与する手法です。例えば、加工性とコストに優れる鉄鋼材料にAlを被覆し耐酸化性を向上させる鍍金が挙げられます。改善のためには材料、特に金属組織の性質を把握することが重要となります。写真は電子顕微鏡や表面分析装置を使って元素分布を測定したものです。



キーワード 表面改質、材料組織、電子顕微鏡

分野 金属工学、表界面工学